

## 中国における緑化政策-退耕還林補助政策と後続産業(2) -

著者	飯塚 勝重
著者別名	IIZUKA Katsushige
雑誌名	アジア文化研究所研究年報
巻	44
ページ	166(55)-180(41)
発行年	2009
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1060/00009291/">http://id.nii.ac.jp/1060/00009291/</a>

# 中国における緑化政策

## —退耕還林補助政策と後続産業(2)—

飯 塚 勝 重

(承前) 本稿は平成20年度本アジア文化研究所年報に掲載した標題(1)(以下本稿(1)といい、本号は本稿(2)とする)の続編に当たり、前年度収載できなかった長江流域から南方地域における、退耕還林政策の一環としての後続産業の具体的な事例を掲げるものである。2008年から始まる第2次補助期間における後続産業の事例もわずかずつであるが、報道されているが、産業形態は第一次と大差ないように見える。但し、還林・還草後の集体林権制度改革に伴う集体から退耕農家各戸に及ぶ林権証発行の進展によって、土地請負権の流動化など、退耕農家のあり方に新たな変化がみられると推察するが、全体の傾向として言及するには、収集する事例に不足がある。本号では紙面の都合もあり、本稿1と同様第1次補助期間に計画された事例に限定して分析しておきたい。

### 1 現段階(2009年度)における退耕還林・草政策と後続産業

本稿(1)ですでに言及したように、1999年以降、生態環境の改善と深山奥地の貧困農民を救済する両用の意義を持つ傾斜地15度以上、とりわけ25度以上の耕地を林地に返すプロジェクトは2007年度以降、基本的に休息期間に入ったかのようなのである。その結果還林・還草政策は、荒山荒地造林が主体となり、この間の政府指導は、すでに退耕還林した林地管理に主体を置き、「検収工作」としての樹木の活着率の検査、補植、

補造など及び戸毎に至るという林権証の発証の徹底、後続産業重視などに向けられている。

こうした動きを総括して09年9月9日陝西省呉起県で開催された「全国退耕還林10周年総結大会」で国家林業局副局長李育材は次のような講話を発している<sup>(1)</sup>。

目前と今後の一定の時期においては、退耕還林工作は重点としての6項の工作をしっかりと把握することである。一に、的確に組織の指導を増強することを高度に重視すべきである。二に、部署を固めて、的確にすでにある建設成果を強固に高めるべきである。三に、しっかりした工程検査・検収を継続すべきである。四に、組織として荒山造林と封山育林をよく実施し、工程の質を的確に高めるべきである。五に、集体林権制度改革を的確に進化させ、法により退耕農民の合法的權益を保護すべきである。六に、10年実践の成功経験を継承発揚し、普段に工程管理の水準を高めるべきである。

また同報道では、「統計に拠れば、1999年～2008年、全国実施の退耕還林任務は合計4.03億ムーであり、そのうち退耕地造林1.39億ムー、荒山耕地造林2.37億ムー、封山育林0.27億ムーである。退耕還林工程による造林は同期の全国六代林業重点工程による造林面積の52%に相当する」と報じている。

## 2 後続産業と長江以南

本稿（1）ですでに触れたように、退耕還林補助政策は、1999年の試行段階から急速に進展し、2003年末には25省、自治区などで全面的に展開され、その結果を踏まえ、2004年には、いわゆる第1次補助期間終了後の還林農家の生計持続のための政策が発表されていた。本稿（1）ですでに触れたように、2004年3月11日国务院發布の「国発（2004）6号」文献で、退耕還林政策を高めるために次の5個の目標を結合することが重要であるとして、全国政府各機関に向けて通知されたものである。

- ① 基本農田建設
- ② 農村能（エネルギー）源建設
- ③ 生態移民
- ④ 後続産業発展
- ⑤ 封山禁牧舍飼

その後、おおむね予想されたとおり、退耕還林補助は第1次に続いて第2次として継続された。詳しくは本稿（1）を参照されたいが、補助を確定した国発（2007年）25号文献では、国家が準備する退耕還林専門資金を有効に案配して、退耕還林後の成果の持続的維持のため①林木後期の管理を強め、補植補造を行い、活着率と保存率を高め、乱伐と復耕の発生を防ぎ、②、退耕農家の長期的な生産・生活条件の改善を図り、個別生計の安全維持（食料、燃料、収入増加等）を主体とするとして、2008年以降の退耕還林政策の重点項目を次のように挙げている。

- 1 基本口糧田建設力を高める（5年間の特別補助をする）。
- 2 農村能源建設を増強する。
- 3 生態移民推進を継続する。（生存条件不備の特困地区、西部の未発展地区、少数民族人口過重地区、生態地区の重要な貧困地区など重点）
- 4 退耕還林地区を継続して補助する。（退耕農家に投資・就業して直接利益を受ける生産生活する施設を起こすことを許可する）。

- 5 退耕還林計画を調整する。（退耕地造林を規制する）
- 6 荒山造林計画を継続する。（国土緑化を推進するためと生態建設を推進するため、種苗代のほか適切な補助をするとし、また樹木の生長を妨げず、新たな土砂流出を起こさない限り、農民間に豆類等の丈の低い農作物を作ることを許し、耕地を大事に思い、耕作することで管理することを促すものである）。

以上の諸項目及び前引（注1）の第5に集体林権制度改革が、注目されるが、後続産業については、殆ど触れていない。確かに第1次と第2次補助を期待する前後の期間には後続産業の進行が一時的に停滞したように見えた。しかし、第2次補助期間も瞬く間に期限に至るであろうから、その後の退耕農家生計の持続的安定を保つためには、後続産業の発展は必死である。但し個別退耕農家が後続産業の担い手としてどのような役割を果たすのか、退耕大戸問題と関連して若干懸念する問題もあることは、すでに本稿（1）でも触れておいた。

第1次補助期間に芽生えた後続産業がどのように発展するのか。ここで、第2次補助期間開始とともに、新農村運動の動きに挟まれ、にわかに強調されるようになった集体林権制度改革について触れておこうと思う。

## 3 集体林権制度改革と後続産業

中国の集体が所有する林地面積は25.48億ムー（約169.86万平方キロメートル）で、全国林地面積の60.1%を占め、4億以上の農民が関わっている。中国の国土面積の69%が山区であるが、その90%前後が林地資源を持っている。全国2,000以上の行政県（市）の内70%が山区の県であり、山区は貧困人口の集中する林区で、全国592個の国家級貧困県の内496個が山区に分布している<sup>(2)</sup>という。

この山区貧困人口を始めとして、退耕造林戸のみならず、山区農民の扶貧致富に至る国家的

政策が早くから求められていた。こうした動きが農地承包（以下記述の中では請負という）権に匹敵する林地の家庭請負経営権の創出である。

集林林権制度改革の動きは新農村運動につながる一つの柱として、2003年からテストケースとして始められ、正式には2008年6月8日付で「中共中央國務院關於全面推進集林林権制度改革の意見」(中発〔2008〕号)として頒布された<sup>(3)</sup>。

退耕還林を主とする造林した土地の管轄・管理を巡って、従来、すべてを管理していた集林の権限を分割二層化し、森林土地もまた農地と同様の扱いをしようとするものである。すなわち、「物件法」及び「農村土地承包法」の規定に基づき、これまで保持してきた集林はその所有権は相変わらず集林経済組織の成員共同の所有に属するが、整備された法律の下で、農民はこれを「物件」として家庭請負経営権制度として享有することが認められ、その内容は、使用権、経営権、処置権、収益権と林木所有権である。請負期間は70年であり、長期にわたるのは、樹木の生育期間が長いことと、農民の長期にわたる生活条件安定を図るためという。いずれも林地所有権に対し、林地請負経営権という制限された制度であるが、これを一口に「明晰産権、承包到戸」と称しているが、試行期間中に早くも全国で34.5%の8.78億ムー（約58.54万平方キロメートル）の完全請負が行われていると伝えられている<sup>(4)</sup>。

上記の（2008）号「意見」に拠れば、請負林地は商品林と公益林に分けられ、商品林は農民の自主経営により生産する木材等を処分することもでき、公益林は、生態環境を破壊しない範囲で林地資源を有効に活用し、樹下産業（薬草、花卉栽培など或いは養豚、養鶏など）を興すことや、森林景観を観光産業に利用することもできるとしている。また、村集林成員の同意があれば、確実な産権の見通しを以て林地に投資することもでき、そのため少量の集林林地を村集林経済組織が保留することもできるとしてい

る。ただ、林地の用途を代えない限り、林地請負経営権人は転包（請負又貸し）・出租（賃貸）・転讓（譲渡）・入股（株を買う）・抵押（抵当）・出資・合作条件などの進行に対応することができるとしており、一方で中国農民の個人請負農地の狭小から、土地の流動化を促し、新たな集約化を求める動きもあることから、山地農民、特に退耕農民がこの集林林権制度改革にどのように対応しているか。特に経済林に林下または林間経済を加え、産業化を図る長江流域及び南方地域の農民のあり方は今後大いに注目すべきであろう。（2009年10月5日稿）

#### <注>

- (1) 「中国緑色時報」を引く09年9月10日付「国家林業局・国家生態網」
- (2) 「人民日報」08年7月17日号
- (3) 「人民日報」08年7月15日号
- (4) 「人民日報」08年7月23日号

#### 巻末掲載

「退耕還林政策と後続産業」—地域・退耕規模・産業化結構・産業形態（B—長江・南方地域）表

#### 追補

本稿出稿後、2009年11月17日、中国國務院は国家林業局局長賈治邦により第7次（2004年～2008年）全国森林資源精査結果を新聞発表した。この精査結果、中国の森林面積は196万平方キロメートルとなり、森林緑化率は遂に20.36%に達したと発表した。前回第6次精査での18.21%と比較すると、2.15%上昇したことになり、面積にして20万5430平方キロメートル増加したことになる。緑化率向上には退耕還林による貢献度が2%分に当たるとされており、人工林保存面積が62万平方キロメートル、世界第1位を保っている。（以上2009年11月18日中国国家林業局「国家生態網」に引く「中国緑色時報・1月18日報道」による）。中国政府は2020年には森林緑化率を25～6%近くまで引き上げることを目標としていると見られる。

## 退耕还林政策和后续产业（2）

地域・退耕规模・产业化结构・产业化形态（A—黄河・北方地域 B—长江・南方地域）  
东洋大学亚洲文化研究所 饭冢胜重

### 1）退耕还林条例中的后续产业关联规定

第五十三条 地方各级人民政府应当调整农村产业结构，扶持龙头企业，发展支柱产业，开辟就业门路，增加农民收入，加快小城镇建设，促进农业人口逐步向城镇转移。

第五十四条 国家鼓励在退耕还林过程中实行生态移民，并对生态移民农户的生产，生活设施给予适当补助。

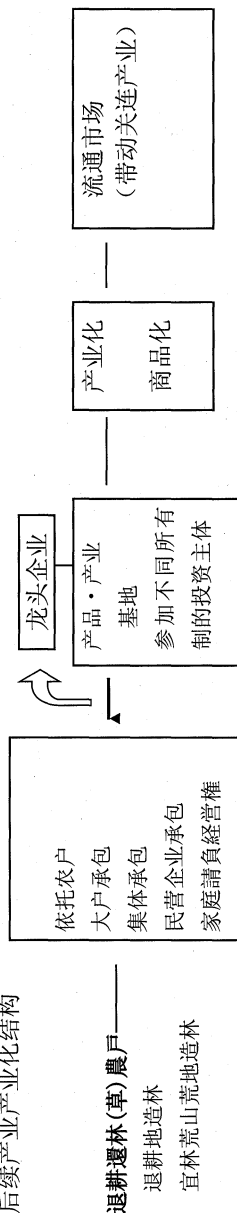
第五十五条 退耕还林后，有关地方人民政府应当采取封山禁牧，舍饲圈养等措施，保护退耕还林成果。

第五十六条 退耕还林应当与扶贫开发、农业综合开发和水土保持等政策措施相结合，对不同性质的项目资金应当在专款专用的前提下统筹安排，提高资金使用效益。

### 后续产业模式

- 1 生态复合模式（1）林—草—畜（羊·牛·猪·鸡·鸭···）→市场（2）林—草—药→公司+农户→市场  
（3）林果兼用（生态经济林）苹果，枣，杏（杏仁），核桃，板栗，小水果（沙棘···）→市场
- 2 生态防护模式 生态公益林（辅助）生态旅游→农家乐
- 3 经济生态模式 扶贫移民新村，文明新农村→科学规划。大棚蔬菜栽培·果汁·酿造，酪农产品→市场  
花椒，茶叶，油料，桑···产业基地→加工工厂→市场

### 后续产业产业化结构



书表主要是摘录集表化做了 自于国家林业局国家生态网 <http://www.forestry.gov.cn/> 的关联报道。(其他报道记事2记载)

## 退耕還林政策和後続産業（续）

## B 长江・南方地域

順	年月	省・市	市・县	乡・镇・村	退耕規模	产业化結構	产业化形态	規模	記事 1	記事 2
001	3.5	四川				1 生态效益前提下大力发展经济产业 2 新的产业模式 造纸原料基地	造纸业，依托制浆造纸龙头企业 林草牧模式药业，林副产品加工业，畜牧业	24万亩  2 万头	退耕還林，贫困户平均8亩  每亩养奶牛0.5头 每头鲜奶收入达1.2万元	01年农民向龙头企业交售原料收入6671万元，人均300元  从以前的单一产业退出引导不同所有制的投资主体兴办竹地板，竹汁饮料加工，食用干鲜笋加工
			乐山・雅安・宜宾市 眉山市	沐川县 洪雅县	6000戸		林草药模式 多种产业发展模式 林产品加工企业		林草，竹草，林茶，  上層核桃樹，下層牧草地 金銀花・南黄羊	雅安中竹林紙股份有限公司，雅安三九药业有限公司  核桃5.8万亩，牧草5万亩，金銀花3万亩
			雅安市 巴中市	天全县 南江县		3 新产业发展机制（个体承包的基础上共同建设原料基地）	①公司加农户（二郎山森工集团+农户）		龙头企业与户，利益共同体・共同建设原料基地	三倍体毛白杨基地9000亩

			华充市	広安・ 南充・ 西昌・ 茂县	各县5000亩 租赁承包	建成黄花李等水 果基地	(2) 业主承包， 租赁承包农民 土地（女青年 欧陽曉玲）		1 国家补助全部兑现给 退耕农民 2 利益分配由业主与农 民双方协商 3 农民通过国家补助和 获取务工补助  企事业单位间，企事业 与农户之间相互达成的 协议，实行生产要素 （土地，资金，技术， 劳力等）重组，共同开 发坡耕地资源，各方收 益按股分红，国家补助 全部兑现给退耕农民	国家补助全部兑现给 退耕农民 1000个农民脱贫至富 户均年劳务收入1000元 最高超过1万元	当地农民投工投劳， 1000个农民脱贫至富 户均年劳务收入1000元 最高超过1万元
			乐山市	沙湾区	4300亩		(3) 股份合作 （沙湾区林業 站・大渡河造 林局合作）		进行产业林业基地，国 家补助全部兑现给农 民，农民投地投劳，推 广站指导和管理 （简报21期）	林業站以技術入股・大 渡河造林局以資金入股 農戶將土地・勞動力折 資入股，建立股份合作 林場	
			資陽市	安岳县		进行产业林业基 地	(4) 连合经营 （林业科技推 广站，农户）		实行农户之间，企事业 单位与农户之间的连合 经营	进行产业林业基地，国 家补助全部兑现给农 民，农民投地投劳，推 广站指导和管理 （简报21期）	
002	3.5	湖南省	邵陽县		6.8万户 23.9万人 30.4万亩	特色林产业结合 新生产经营模 式， 实现以林增收	优化树种，林 种结构重点发 展 漆树・国槐	02年漆树	人均增收120元 直接增收50元 間接增收70元		

								板栗·杨树	8000万亩国槐4.5万亩板栗1.1万亩护林4.5万亩	4年后每亩45公斤每亩1800元，总产值1440万元，国槐4—6年后每亩1500元，总产值6750万元	扩大工業原料基地 東部林業基地12万亩 西部林業基地5万亩 中部和南部林果基地5万亩 江河地域林紙基地5万亩
								实现护林增收 由农户集中土地，招商引资营造绿化大苗园	林草间种，协调发展肉牛产业 绿化大苗园建设	新建沼气，大大减少了伐木取薪 喬木栽植密度100株以上，株周围種植多年生矮象草和黑麦草 培育壮大花卉产业年产值100万元，	人平节约开始50元左右 全县利用中国粮油公司 对口扶贫， 每亩每年可增收200元以上
003	3.11	重慶	巴南区					建立4大基地带动龙头企业+政府引导5大后续产业 花椒精加工业	花椒30万亩，花卉，茶葉，木豆各10万亩 市级农业产业 化龙头企业重 庆玉皇花椒公 司+巴南区花 椒产业协会开	总投资1,500万元建立花椒精加工厂，实现花椒產業	



004	4. 10	湖北					特色花卉产业  绿色茶葉產業  畜牧制品加工业  森林旅游业	发 组建重庆巴南 特色花木集团  重庆二圣茶 厂，一品堂茶 叶公司为龙头 引进重庆海浪 集团		巴南区花木盆景协会和 新力，黎高，博望，五 洋等园林企业基础 发挥桥口坝国家森林公园公 园品牌效应  发展农家休闲度假为森 林旅游	重点开发色叶花木，盆 景珍奇植物等  无公害绿色食品，巴南 银针・巴南银芽  开展牛羊舍饲，发展以 奶制品为主 (简报28期)
							1 明确退耕还林 对象 2 统筹规划，因 地制宜确定替代 产业和后续产 业，建立6000万 亩的产业基地  3 经济价值较高 的生态经济兼用 树种或经济林 的选择 4 大力推广立体	人均0.5亩的 口粮田 板栗 花椒 木瓜 中药材  争取農戶2亩 以上，  林草，林药，	羅田，麻城，大悟，曾 都等 襄十結合部 鄂西北 鄂中南  根拠全省的自然条件和 气候得点，要求到达 50%		

005	5.2	湖北	宜昌				<p>种植业</p> <p>5 抓 好 基 地 建 设, 带 动 相 关 产 业 发 展</p>	<p>林果和养殖业 林果业, 林产 加工业, 畜牧 养殖业, 森林 旅游业等</p>	<p>各地建立有市场前景的 资源基地, 带动相关产 业发展,</p>	<p>加强组织领导, 立足科 学规划, 强化科技支 撑, 培植产业龙头, 延 伸产业链条。 围绕秭归脐橙, 枝江砂 梨, 5峰绿茶, 远安菌 耳, 夷陵中药材。</p> <p>84.3万亩</p> <p>106.9万亩</p> <p>依托退耕还林 工程 1 柑 橘, 板 栗, 核桃等高 效经济林 2 木 瓜, 栀 果, 银杏等中 药材</p> <p>大打三峡牌, 生态牌, 西部牌, 积极引进知名 企业。 全市目前一定规模的木 材精深加工企业15家, 干鲜果茶加工企业85 家, 林化林药加工企业 17家, 总资产达到20.9亿元, 各种林产品加工能力达 到30万立方米以上, 年 创产值5亿元。 积极引导规范农村中介 组织, 充分利用其联结 龙头企业和退耕农民的 桥梁。</p>
-----	-----	----	----	--	--	--	--	--	--	---

006	5.2	重慶市	江津市			壮大花椒产业 市政府领导，市长为组长，实行业主承包经营，支持业主以承包、租赁，入股等形式建立花椒基地	建立花椒基地，全市成立花椒协会，成立了69个花椒专业合作社，入社农户53915户，面积7.3万亩，		计划，2010年完成，花椒面积70万亩，可产生经济效益14亿元。	
007	5.3	湖南	吉首市			六大后续产业 1 发展楠竹林  2 扩大林果业  3 培育种草养畜  4 建设工业原料林	金秋梨，脐橙 沙田柚，板栗  林下种草  发展造纸效果，桉木栽植。	2.5万亩  1.5万亩  3.5万亩  10万亩	每年算出经济效益250万元，全市农民人均增收830元左右。 按1500元/亩收入计，退耕还林中的林果业将达2250万元，可拉动农民人均年收入1500元。 草植养殖大户126户每年产草粮可供养牲畜1万头，每年可实现产值800万元，全市农民人均增收450元左右。 桉木每亩10立方米，每立方米400元计算，15万亩实现产值6亿元，拉动农民人均增收4000元	

008	5.10	贵州	遵义市				5 扩大用材林 6 生态旅游	速成丰产林基地 森林公园・5万亩禁伐场的工作	基地6个 6万亩 6个万亩 森林公园 其他,完成造林4万亩	以杉木为主,3年生平均1.7米,可实现产值3亿元拉动农民人均增收2000元左右 年营业额突破了千万元大关	
							产,加,销,贸,工,农一体化经营 公司+基地+农户的产业发展模式 培植产业大户+农村经纪人	加大培育24家龙头企业 金旭公司+农户 竹基地+农户 产业大户约1.5万人 经纪人5万余人	政府每年支出1400万元 方竹笋基地5万亩 农户1000户	竹,药,茶,桑,饮料等行业年产值30亿元  专业协会和中介组织1200个 绥阳县金银花和黄栀子的专业大户38户	
009	05.11	雲南	昭通市				种植经济林果 林业产业的发展,农业产业结构调整	南方优质苹果基地 无公害蔬菜 优质烟草 竹林基地	30万亩 4.5万亩 10万亩 120万亩 年 产值1亿元	在矮近山区  大力推广专业队和大户承包造林占50%以上	

010	07.1	湖北				林业产业基地 立体种植模式 →林下种植业和 养殖业	林草，林菜， 林果等		罗田 板栗 襄樊・十堰 花椒 鄂西北 茶叶，核桃， 木瓜 鄂中南 中药材 汇源果汁，吉象木业， 巨宁竹业，绿源板栗加 工厂	生态林，生态经济兼用 林，经济林的比例 5 : 4 : 1  湖北省后续产业第2次 公报（第1次参照 B - 5）
011	7.4	四川	川西	南山地区， 盆周边山 区	760万亩	省每年1000万元 资金扶持（07～ 2010）	为当地农民增 收能力，防止 毁林复耕	1300万亩		遇牧减少，湿地功能退 化严重（四川新闻网成 都商报）
012	7.4	四川	21市 176县		622万户 2250万人 1336.4万亩	退耕还林和天然 林保护工程 在龙头企业带动 有产业基础发展	产业示范项目 5 类林地基地		木质工业原料（檀木， 杨树，松）竹质原料 （麻竹，慈竹外）干果 林（核桃，板栗，银杏， 花椒） 木本药材（杜仲，黄芩， 厚朴）大本油料（油桐 ）	中央累计投163.6亿元， 省级财政投入9.77亿元 07-10省每年投入1000 万元  稳得住，不反弹，能致 富
013	7.4	贵州	普定县	上乡坪上 村	961亩	培育后续产业掌 握冰脆李栽培技 术	每株挂果13- 15斤  劳务输出176 人		~06 每亩收入1200元， 全村人均增收448元，  每户增加收入1500元以上	修建沼气池31口

中国における緑化政策

014	7.6	安徽	长丰县	造甲乡宋岗村	3200亩	林地利用“立华禽业”	林下空地建大棚养鹅		~05大棚36个07大棚60个建成 03~7年461亩效益 ~06年2万亩初见效益	每个大棚养成鸡2.5茬 年棚平均纯收入2万元 茶叶加工房10人，外出务工675人 年人均纯收入4000多元 小水库·沼气
015	7.7	贵州	都匀市	坝固镇羊列村	1436亩 5.8万亩	退耕还茶	村级茶叶协会+茶叶加工房 都匀毛尖茶			
016	7.10	四川	泸州市	合江县虎头乡	今後5年内2.5万亩	生态经济林+青果产业	青橄榄 7年产量200万公斤，产值500万元以上	13021亩	可生食，加工果脯，饮料，药品，酿酒 军魂酒业有限公司	年可处理40万公斤“军魂”牌20万公斤，每公斤40—100元
017	7.11	湖北	宣都市	聂家河镇凤凰山区郑家坪村		公司+基地+农户的产业运作模式	桑树·蚕茧+引进浙江省桐乡市民营企业建立凤凰产业有限公司	2436亩 06年新1000亩 今後再发展基地2000亩	100万元投资，公司与蚕农签订10元/公斤林业局，2亩以上农户优先纳入退耕还林项目，对自筹苗木款有困难的农户，信用社优先提供小额贷款支持，他	涉及白河淌，王家坪，凤凰池，丁家坪村730户，实现蚕茧产值120万元，增加蚕农收入100万元 种植桑枝木耳，花茹等，亩可增收1000元，达到3000元/亩的收入目标
018	7.11	湖北	恩施市		23.5万亩	退耕还茶+公司	江苏客商投资组建的润邦国际茶叶公司，打造“恩施玉露”品牌		茶叶的亩产收入均已达到3000元以上	“恩施玉露”被评为湖北省十大名茶

019	7. 11	四川	达州市	渠县		退耕还林与调整 产业	花椒产业果林 業局帮助青椒 2万株，建立 了4個花椒基 地	1000万亩	向退耕农户免费传授 种植技术	
020	8. 4	湖北	竹溪县			依托特色资源， 培育支柱产业	大力推进茶叶 产业	16. 6万亩	茶叶产销量达到250万 斤，销售收入达3亿 元，茶农人均年增收 800元	被国家命名为中国有机 绿茶之乡 06年冬罕见的冰雪害， 去年减产70%茶叶的损 失果树补
021	8. 1	江西	会昌县		1. 5万亩	林果・林薬基地 +造林大户依托	林農2000余 戸，每年增收 7500万元以上		右水乡造林大户依托， 连片栽植700亩的杨梅 林，每年达70万元 筠门岭镇盘古村造林大 户，依托2003年承包坡 耕地种植脐橙100亩， 总投资35万元，每年收 益50万元以上	
022	8. 5	四川	彭州市	葛仙山镇 熙玉村	3700亩	彭州市依托 生態休闲觀光旅 游	重点打造熙玉 园生态片区	3000亩	内退耕還林地1, 800亩 林果，梨・油桃・枇杷 03～年35万斤，200万 元，利润50多万元	接待旅遊6万人收入 240余万元 退耕戸人均增收500元

023	8.5	四川	蒲江县	光明白雲, 成佳, 大興, 大塘, 甘溪		06年以来蒲江县 委托现有茶园基 地对林茶混交模 式	茶叶櫻桃混交 林・旅游 茶叶桂花, 茶 叶银杏混交 茶叶巨桉混交 經濟用林	1万亩 各1万亩 1万亩	县園林局新西蘭大櫻桃 金花村示范1000亩	本地70农家旅游的发展
024	8.5	重庆	万盛区	王家坝・ 民权村	1171戸 4115亩	花椒 規模化, 集約 化, 商品化經營	成立花椒专业 合作社・引进 原上草公司		原上草公司负债收购・ 加工 07年180万斤・576万元 戸均4900元	
003	8.5	湖北	竹溪县	汇湾乡 双竹园村		06年冬罕见的冰 雪害, 去年减产 70%茶叶的损失 果树补	林・茶间作	竹溪县16万 亩	茶+木瓜, 板栗, 银杏 04年3月-07年 07年51亩15000元 08年預計20000元	